

話し合いの場から子育ての輪を地域に広げる



盛り上がるワークショップ会場



みなはぴの取り組みについて紹介

昨年7月21日(日)、第一回みんな子育て作戦会議「しゃべりば」を南三陸町と任意団体「みなはぴ」(特活)ウィメンズアイで共催しました。初回に続き、今回も30名がグループワークに参加しました。

前半は、第一回開催後の対応を振り返り、参加者からは「第二回ができたことが良い」、「リピート参加者、新たな参加者、いろいろな立場の人が関わることができる良い」など、フラットな話し合いの場の定期開催を望む声が多数上がりました。

「みなはぴ」によるSNS発信により、町内の子育て情報の伝達スピードが向上したことや、「みなはぴひろば」など遊び場の提供に共感する声もありました。

しゃべりば通信

2025年
1月号

「しゃべりば通信」は、しゃべりばの開催と連動してまちの子育てをみんなで考えていくためのお便りです。

発行:
25年1月29日
企画・作成
(特活)ウィメンズアイ
みなはぴ

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を日指して

後半は、令和六年度、南三陸町にて策定予定の【南三陸町子ども計画】に関連し、町内で子育てで大変なこと・困ったこと、嬉しかったこと、助かったことを書き出し、グループごとにまとめて発表しました。

小学生や中学生になると、子育ての悩みに加え、学校や進路など、子どもが抱える悩みも。町が行う小学五年生、中学二年生を対象とした生活状況や将来への思いなどを聞き取るアンケート調査について、参加者から「いいね」の声が上がりました。



子どもの成長に応じて変わっていく子育ての課題

会場には、子どもたちが元気いっぱいあそぶ姿



参加者の声

「緊張しましたが、安心して意見を言うことができました。みんなで一緒に考えて話し合うって良いと思いました。」

「毎回皆さんの活動報告を聞いて刺激をもらっています。自分もできることからやっていきたいです。」

みなはぴの感想

第一回で寄せられた意見に対して、解決できなかったことだけでなく、できないことも参加者に直接伝えることができました。毎回やる課題を棚上げしたままにせず、これからも考えていきたいです。



当日のゲストからのメッセージ



荒木裕美さん
特定非営利活動法人ベビースマイル石巻

子どもたちが遊ぶ中で開催された「しゃべりば」でしたが、これが大事です。ただ言葉が未熟な子どもであっても、社会の一員として、気持ちを汲み取って、子どもにとって良いことを考えていくこと。そして、今日出た意見を反映させることがとても大事です。

家庭や地域ぐるみの子育ての中で、または町の施策へぜひ反映させてください。

